

マイウェイ

No.34

丹沢の森物語
監修 文 城川四郎 写真 松尾順造
財団法人はまきん産業文化振興財団

平成11年6月発行・発行人 平澤貞昭・編集人 高橋紀雄・発行財団法人はまきん産業文化振興財団 千201-8611 横浜市西区みなとみらい3-1-11 電話 045-225-2171(直通) 横西北社 大日本印刷

これが一体型!!

お持ちのカードとくらべてください!!

その1

「引き出す・預ける・振り込む」の
キャッシュカード

その2

「ショッピングする」の
クレジットカード

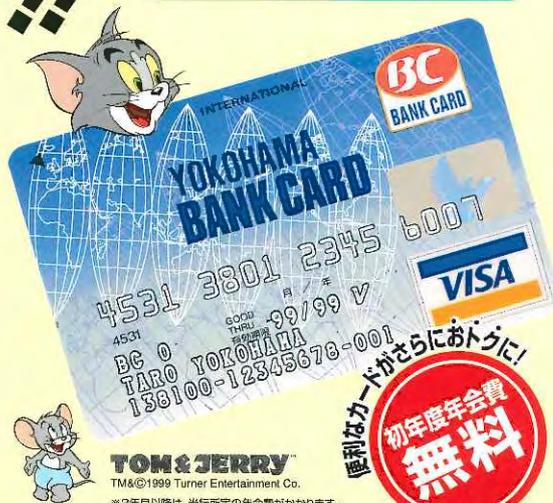
その3

「借りる」の
ローンカード

+

プラスワン

「海外で預金を引き出す」の
海外キャッシュサービス



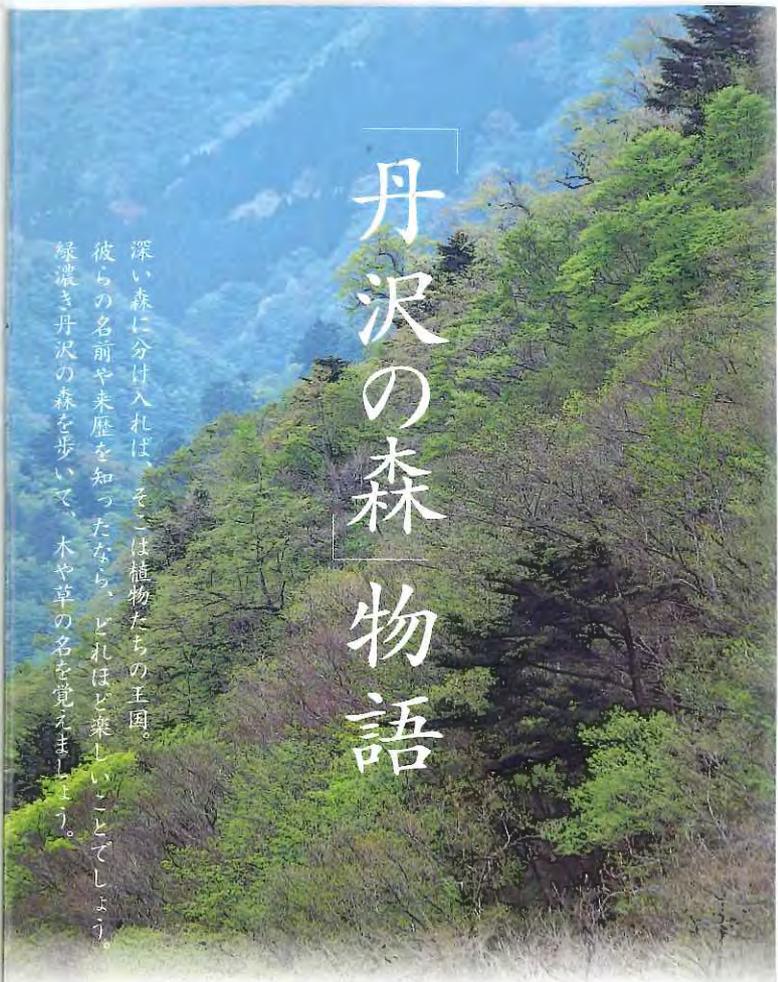
横浜バンクカード

横浜バンクカードに関するお問い合わせは

YOKOHAMA CALL 0120-354-888

【受付時間】銀行営業日の午前9時～午後5時

BANK OF YOKOHAMA



丹沢の森物語

深い森に分け入れれば、そこは植物たちの王国。彼らの名前や来歴を知ったなら、どれほど楽しいことでしょうか。緑濃い丹沢の森を歩いて、木や草の名を覚えましょう。

丹沢のなりたち

神奈川県の西北部には、千歳を超え山々が、錯綜さくそうした深い谷に隔てられながら不規則に集まっています。東から大山おおくやま、塔ノ岳とうのだけ、丹沢山にざわさん、蛭ヶ岳むしらがたけ、鍋割山なべわりやま、檜洞丸ひのほらまるなどです。その山々の集まりを丹沢山塊にざわさんかいといっています。

ほとんどの人は親しみをこめて単に「丹沢」と呼びます。最高峰は蛭ヶ岳むしらがたけで、標高は一、六七三せんろくです。丹沢の山麓は植林地が多く、人為的影響を強く受けていますが、上部は自然が豊かに残っています。その主な部分は国立公園や県立公園に指定され、開発や動物の乱獲などを厳しく規制して、自然が保たれるよう保護しています。

丹沢の樹木

丹沢では、標高およそ八百歳までは暖帯植物(シイ・カシ・ツバキ)の生えることのできるシイ・カシ帯に属し、それより高い山域は温帯植物(ブナ・ミズナラ)が生えるブナ帯に属します。ですから、山麓ではたくさん見られた植物が、山を登るにつれて次第に姿を消し、山麓では見られなかった植物が標高が高くなるにつれ現れます。また、暖帯にも温帯にも適応できるエゴノキ・ウツギなどのような、山麓でも山頂近くでも共通して見られる植物も少なくありません。丹沢には、分布上注目すべき樹木が数種類あります。そのなかでよく目につくものはマ

メザクラとヒコサンヒメシヤラです。

マメザクラは富士・箱根を中心とする神奈川県、東京、静岡、千葉南部が主な分布地です。花を下向きに羞はすかしげに咲くのでオトメザクラ(昔の乙女？)ともいい、また富士山周辺に多いのでフジザクラの別名があります。

ヒコサンヒメシヤラは関東以西の太平洋側に分布します。サルスベリのような赤褐色あかあぶりの樹肌きはだをしているので目立ちます。よく似ているヒメシヤラとともに西の方から東へ次第に分布圏を広げてきて、ヒメシヤラは箱根で止まり、ヒコサンヒメシヤラは丹沢まで到達しました。樹肌に不規則な黒ずじがあることでヒメシヤラと識別できます。七月に白いツバキのような花をつけます。



上／マメザクラ 富士山周辺の特産種 早春の山を飾る。下／ヒコサンヒメシヤラ 丹沢のものは葉の裏に毛があるのが特徴。厳密にはトウゴクヒメシヤラという。
* 写真撮影／城川四郎



上/ミヤコザサの道。鍋割山頂から少し下った辺り。①ウワミズザクラ/谷の斜面などに多く、花は葉とともに開く。* ②ヒメウツギ/谷沿いの崖などで、5月中旬ごろに花を開く。③ヤマボウシ/秋には果実が赤く熟して食べられる。* 左/二俣近くの落葉樹の林。

五月末から六月にはウツギ、マルバウツギ、ツクバネウツギが白い花をにぎやかに咲き連ねます。

谷の向こうにはミズキに代わってクマノミズキのやや薄黄色がかった花が見えます。谷を隔てた遠くに樹冠が真っ白に花で飾られているように見えるのはヤマボウシ(③)です。

●小丸尾根
勸七ノ沢を渡り、小丸分岐の道標に従い右折し小丸尾根を登ります。登り始めてすぐ灌木のミヤマシキミ(④)があり、四月なら白い花を、秋なら赤い実を見せてくれるでしょう。四月にはマメザクラが咲いています。ダンコウバイ(⑤)やアブラチャン(⑥)も咲いています。葉が出ればその形はまったく違います。

※丹沢大山国定公園内では、自然環境を守るため、動植物の捕獲、採集は規制されています。特に、特別保護地区内では動植物の捕獲、採集の一切を禁じています。



丹沢の森歩き

森山歩きは、一人で出かけず、山歩きの経験が豊かな人をリーダーにグループでお出かけください。コースタイムは歩行時間のみで、休憩や食事の時間を含んでいません。樹木観察やスケッチをしたり、森に触れながら歩くには、約3倍の時間をみる必要があります。ゆっくり楽しくいきましょう。

- コース①
- コース②
- コース③
- 尾根・稜線
- 道路
- 川・沢・湖

鍋割の森

丹沢の樹木が凝縮

コース①

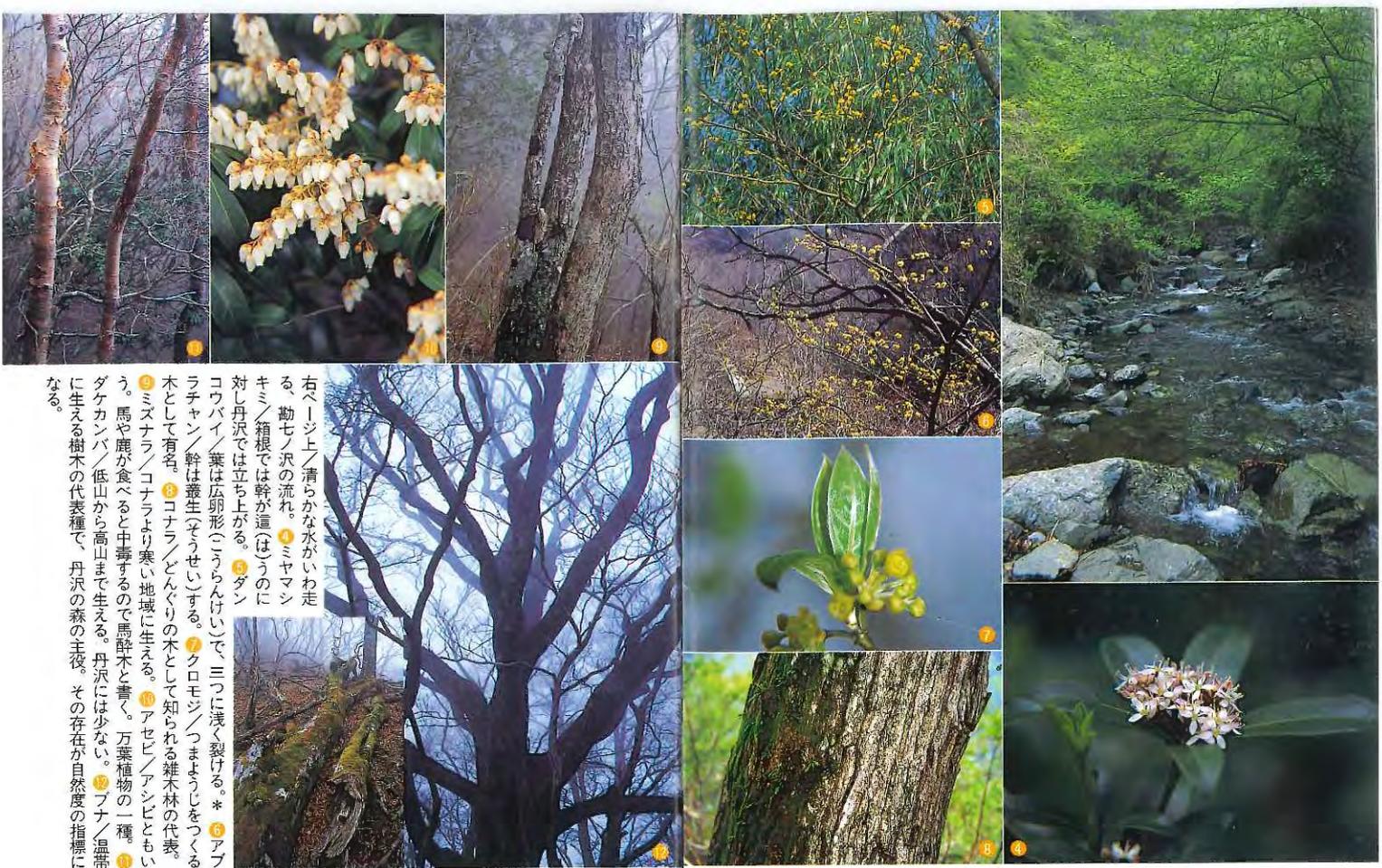
一般向き

歩行6時間5分

●大倉〜二俣

大倉バス停から西山林道に入り、二俣を目指します。三月末から四月の初めころならキブシが、小さな鈴を連ねたような幾条もの薄黄色の花を垂らしているのに出会います。

五月中旬には、谷のこちらにも向こうにもミズギが枝の上に白い花を乗せています。白いブラシのような花を枝先にたくさんつけたウワミズザクラ(①)の花も見えます。崖側にはヒメウツギ(②)が白い花を咲かせています。



右ページ上／清らかな水がいわゆる、勘七ノ沢の流れ。①ミヤマシキミ／箱根では幹が這(は)うのに対し丹沢では立ち上がる。②ダンコウバイ／葉は広卵形(こうらんけい)で、三つに浅く裂ける。*③アブラチャン／幹は叢生(そうせい)する。④クロモジ／つまようじをつくる木として有名。⑤コナラ／どんぐりの木として知られる雑木林の代表。⑥ミズナラ／コナラより寒い地域に生える。⑦アセビ／アシビともいう。馬や鹿が食べると中毒するので馬酔木と書く。万葉植物の一種。⑧ダケカンバ／低山から高山まで生える。丹沢には少ない。⑨ブナ／温帯に生える樹木の代表種で、丹沢の森の主役。その存在が自然度の指標になる。

いことで区別できます。

五月下旬なら常緑灌木のアセビ(アシビ)・⑩が満開です。稜線が近くなったころ、樹林のなかに、シラカバに似て、それより赤褐色がかった樹皮のダケカンバ(⑪)が少数混じっていることに気がつきます。

●鍋割山稜
なべわりさんりょう
 鍋割山稜登山路に出ると小丸分岐の道標があり、左は鍋割山方面、右は花立・塔ノ岳方面です。左に進み、小丸を過ぎて鍋割山頂に至るコースはブナを主とした樹林帯です。ブナの大木(⑫)が低く枝を伸ばしています。その姿は強い風とたくましく闘いながら生き抜いてきた生活を物語っています。

赤褐色の樹皮が目立つのはヒコサンヒメシ

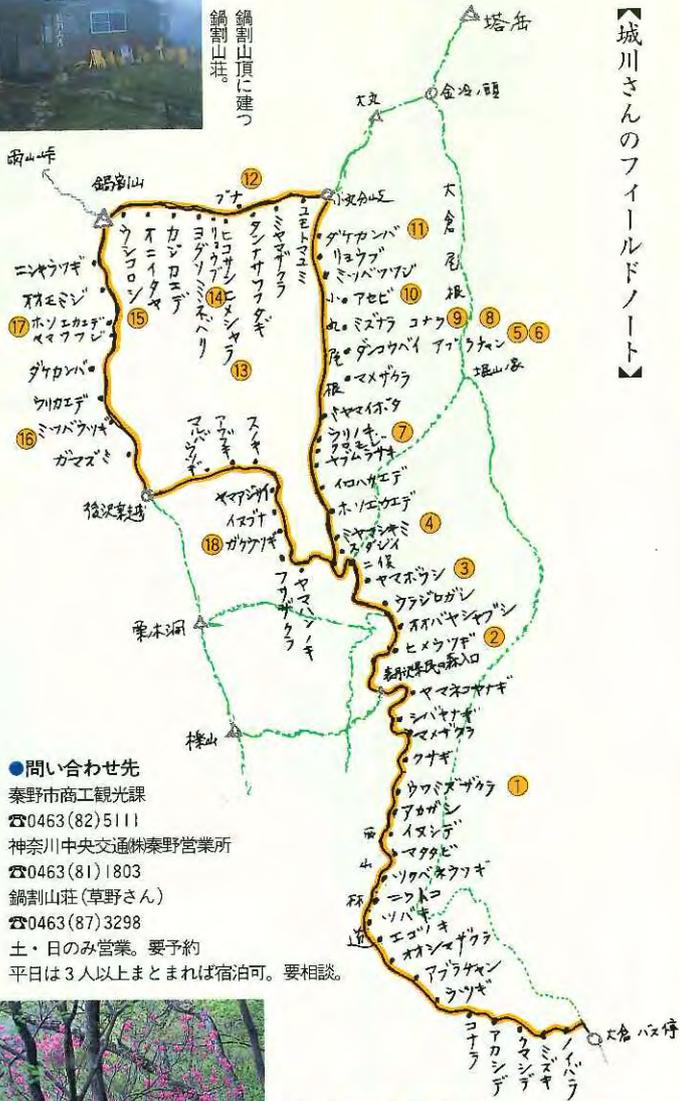
が花はよく似ています。ダンコウバイは花をつけている枝が緑で、アブラチャンは褐色です。どちらも枝をほんの少し折って匂いを確かめるとよく似た香りがします。この二種は、花のときには葉を出していません。若い葉を羽子(はね)つきの羽根のように花の上に立てているのはクロモジ(⑦)です。クロモジもダンコウバイ・アブラチャンに似た香りがあります。まず、この三種の木を覚えましょう。

登山路の中間点に休憩台の残骸(ざんがい)があります。およそ標高七百五十メートルで、暖帯植物のコナラ(⑧)と温帯植物のミズナラ(⑨)が隣り合って生えています。両者は似ていますがコナラは樹皮が剥げず、葉柄(はなへ)があるのに対し、ミズナラは樹皮が薄片(はくせん)になって剥げ落ち、葉柄(はなへ)がな



鍋割山頂に建つ鍋割山荘。

【城川さんのフィールドノート】



●問い合わせ先
 秦野市商工観光課
 ☎0463(82)5111
 神奈川中央交通株秦野営業所
 ☎0463(81)1803
 鍋割山荘(草野さん)
 ☎0463(87)3298
 土・日のみ営業。要予約
 平日は3人以上まとまれば宿泊可。要相談。



① ミツバツツジ／早春の峰にも春らしい雲間気を演出する。② ホソエカエデ／浅く三つに裂けた大型の葉で、花の柄の細いのが特徴。③ ガクウツギ／三枚の花弁状のがく片が大きい。*



④ ヒコサンヒメシヤラ／樹皮には不規則な黒い縞模様がある。⑤ リョウブ／樹皮がナツツバキに似て特徴的。夏に開花。⑥ ウシコロシ／材が丈夫で、牛の鼻環(はなわ)に用いた。*



ヤラ(⑬)です。ヒコサンヒメシヤラと同じように樹皮が平滑で、不規則な淡い斑紋があるのはリョウブ(⑭)です。夏に白い花をつけます。鍋割山頂への最後の登りの手前に生えているウシコロシ(⑮・別名カマツカ)は、六月に白い花を枝いっぱい咲かせ、秋には赤い実を落葉のあとまで残します。

●鍋割尾根／二俣

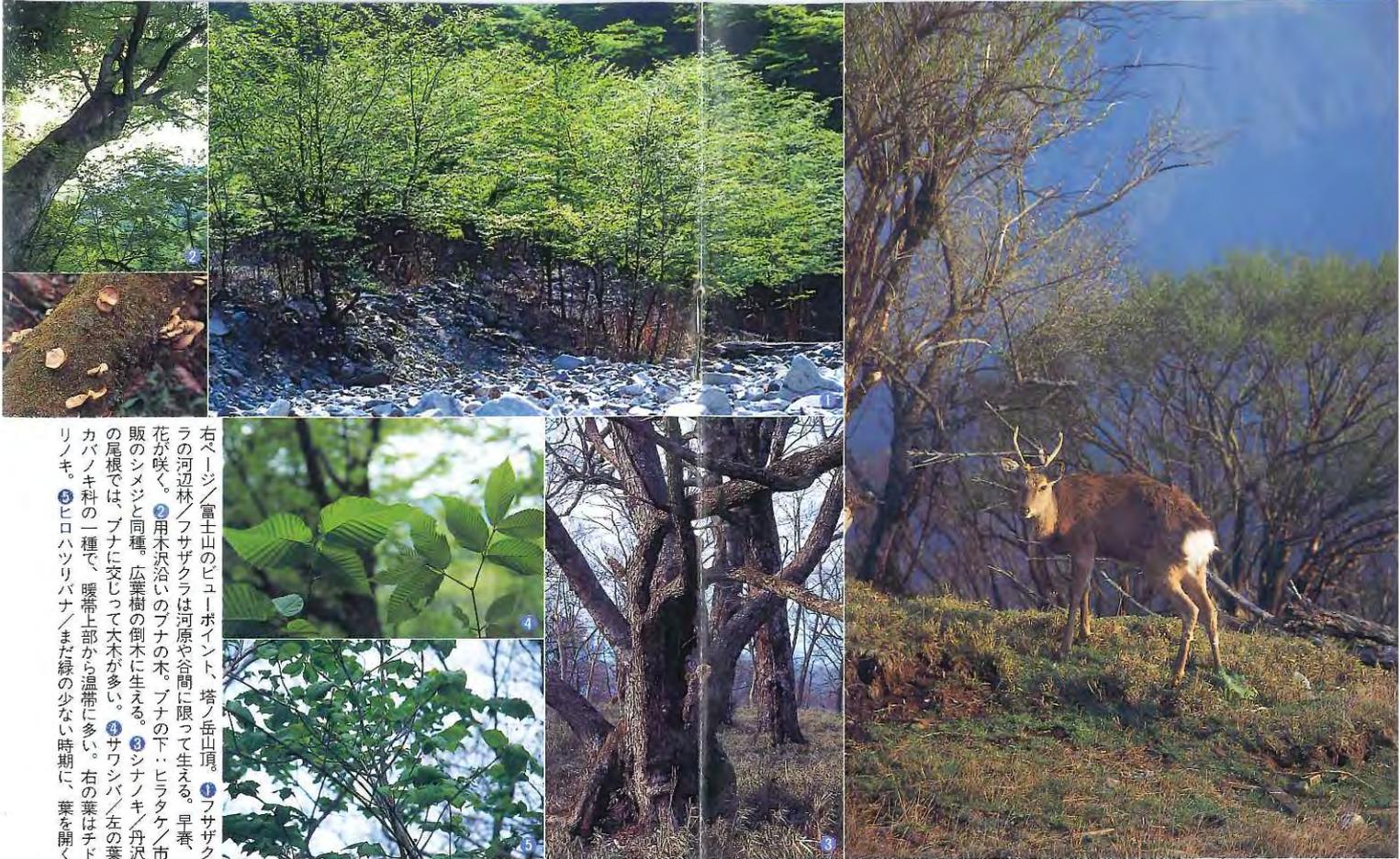
鍋割山頂で展望を楽しんだら鍋割尾根を下ります。四月はマメザクラ、五月ならヤマツツジ・ミツバツツジ(⑯)、六月にはニシキウツギ・アズマイバラが花を咲かせます。ヤマツツジの花は橙赤色、ミツバツツジの花は桃色です。ニシキウツギの花は筒状で、赤と白が入り混じって咲きます。

コースタイム

小田急線渋沢駅→神奈川中央交通バス15分→大倉バス停→10分→西山林道(時間10分)→二俣→1時間40分→小丸分岐→25分→鍋割山→35分→後沢乗越→45分→二俣→1時間20分→大倉バス停→往路を戻る。

十一月にはオオモミジやホソエカエデ(⑰)が美しく紅葉しているでしょう。後沢乗越の分岐に着くと左に折れ、やがて植林地を経てミズヒ沢を渡り林道に出ます。六月ならこの林道の山側に灌木のガクウツギ(⑱)が白い目立った花を咲かせています。やがて小丸登山路の分岐(二俣)に至り、往路と同じコースを帰ります。

■鍋割山頂の鍋割山荘に一泊して、ゆっくりと森歩きを楽しむのがよいでしょう。



右ページ／富士山のビューポイント、塔ノ岳山頂。①フサザクラの河辺林／フサザクラは河原や谷間に限って生える。早春、花が咲く。②用木沢沿いのブナの木。ブナの下…ヒラタケ／市販のシメジと同種、広葉樹の倒木に生える。③シナノキ／丹沢の尾根では、ブナに交じって大木が多い。④サウシバ／左の葉、カバノキ科の一種で、暖帯上部から温帯に多い。右の葉はネドリノキ。⑤ヒロハツリバナ／まだ緑の少ない時期に、葉を開く。

コース③ 健脚1泊コース

歩行 1日目 6時間50分
歩行 2日目 5時間5分

丹沢を代表するブナ林、ヒコサンヒメシヤブの林が展開

丹沢主稜の森

●用木沢合合く犬越路

はじめは河原を歩くので、フサザクラとの出会いが多い。フサザクラは河辺の湿地に分布し、オオバヤシヤブシ・ヤマハンノキなどと河辺林①をつくっています。用木沢沿いの道に、標高はまだブナ帯には達していませんが、かなり太い一本のブナ②が、道から河原に向かってたくましく幹を伸ばしています。用木沢を離れて犬越路までは暗い谷間の樹

林で、この間にシイ・カシ帯からブナ帯へ移行して、次第にイヌブナ・ミズナラ・ブナが増えてきます。

●犬越路く熊笹ノ峰く檜洞丸

いよいよ丹沢らしい樹相が展開します。目につく大きな木はブナです。丹沢で、もっとも代表的な樹木はブナであることがわかります。そのほかシナノキ③、ケハリギリ、サウシバ④、ヒロハツリバナ⑤などが険しい尾根に生育しています。ブナに負けないくらいの大木で樹肌が細かくひび割れているのがシナノキです。ケハリギリは大木になると、樹皮が松のように裂けています。枝にはたくさんトゲがあり、ヤツデの葉を小さくしたような葉で、裏に毛がたくさん生えています。

樹形が特徴的な三種の木。左からブナ、シナノキ、サウグルミ。



右/バイケイソウ、蛭ヶ岳山頂で。左/ウラジロモミ：モミによく似ているがそれより高いところに生え、丹沢では蛭次(ひめつぎ)や主稜に多い。

⑥ヒコサンヒメシヤラ純林/丹沢では大木が見られず、比較的細いものが多い。⑦サラサドウダン/花は枝の下に咲くので遠くからは目立たない。*
⑧ツルアジサイ/山麓には分布せず、ブナ帯に生える。左/マツノハマシネウツギ/富士山周辺に分布し、ブナのコケの生えたところなどに着生(ちやくせい)する。



ウラジロモミの実。

● 樽谷丸/白ヶ岳/蛭ヶ岳

白ヶ岳付近に、ヒコサンヒメシヤラの純林(⑥)があり、日本でのヒコサンヒメシヤラ林の東限になります。五月から六月にかけてヤマツツジの朱赤色、ミツバツツジ、トウゴクミツバツツジの桃紫色、シロヤシオの白色、サラサドウダン(⑦)の更紗模様などツツジの仲間が目を楽しませてくれるでしょう。ツルアジサイ(⑧)は高木に巻きついて攀じ登り、高いところで白い花を咲かせています。

● 蛭ヶ岳(泊)〜丹沢山〜塔ノ岳〜小丸

蛭ヶ岳山頂付近で、ブナの立ち枯れが多く目につきます。十年ほど前から大気汚染の影響で山頂付近のブナが枯れ、ブナの芽生えはシカに食べられてほとんど生育できないとい

う事態になっています。そのためブナ林を守るための植生保護柵がつくられています。

五月末、蛭ヶ岳山頂から棚沢ノ頭にかけて、コウグイスカグラが可憐な花をつけます。秋にはその実が赤く熟し、よく見ると瓢箪のように二つの実がくっついていて興味をそそります。不動ノ峰にはシロバナフリンツツジ(⑨)の大きな古木があり、六月にはにぎやかに花をつけます。丹沢山では六月にベニバナツクバネウツギ、七月にはノリウツギが咲きます。注意すればタケカンバを何本か見つけることができるでしょう。竜ヶ馬場では七月にフジイバラ(⑩)が花をつけます。

塔ノ岳では六月にキバナウツギの黄色の花が目につきます。金冷やしから大丸に向かう



右上/塔ノ岳山頂からの眺め。上/蛭ヶ岳から丹沢山への道。⑨シロバナフウリンツツジ/サラサドウダンの白花(しろばな)の品種。この種類としては珍しい大木が不動ノ峰付近にある。* ⑩フジイバラ/富士山周辺のブナ帯に多いが、その分布状況が特異的で注目される。⑪タンナサワフタギ/白檜のような特異な樹皮で、覚えやすい樹種である。*

●問い合わせ先

山北町産業観光課 ☎0465(75)1122

津久井町産業経済課 ☎042(784)1141

神奈川県丹沢大山自然公園管理事務所 ☎0463(81)1421

青ヶ岳山荘(榎岡丸山頂/高城さん) ☎042(787)2151 土・日・祝日のみ営業。要予約。

蛭ヶ岳山荘(蛭ヶ岳山頂/杉本さん) ☎090(2252)3203 通年営業。予約が望ましい。

みやま山荘(丹沢山山頂/岩田さん) ☎0463(88)2144 土のみ営業。要予約。

尊仏山荘(塔ノ岳山頂/山岸さん) ☎0463(88)1113 通年営業。予約が望ましい。

※バスについては、9ページ、11ページをご参照ください。

わたしと丹沢

城川四郎

春はピンク色のミツバツツジの花が点景を添える淡い萌黄色のやわらかい山肌を和ませ、夏は鬱蒼とした深緑のブナの林で林縁に咲くソバナの涼しげな花とともに緑陰に憩う。秋は紅葉、黄葉、枯葉色が渾然一体となって尾根から谷を彩り、ナナカマドの赤い実が青天に輝く美しさに時を忘れ、冬は裸樹の梢が交錯しつつ天を刺し、ときには白銀の世界と化した尾根に、霧氷の衣に飾られたブナの群像が並び立つ、その自然の厳しさに畏敬の念を抱く。



丹沢は四季それぞれに、自然の美しさを演出し、訪れる人の心に感動とやすらぎを与え、ときには甘えを許さぬ自然の厳しさを毅然として体現する。

山の靈気を浴びて、敬虔な思いと躍動感がみなぎるような生命の充実を覚えたかつての深山幽谷の雰囲気、今は失われつつあるのはいかにも寂しい。それでも、丹沢の麓に住み、丹沢をフィールドにして植物やキノコを学んできた私にとって、丹沢は師であり、母なる山とも言えるほどにどの山よりも愛着が深い。

城川四郎(きがわしろう)/大正15年、福岡県生まれ。神奈川県植物誌調査会代表、神奈川県キノコの会会長、元神奈川県立高等学校長。主な著書には「神奈川県植物誌1988(共著)」、「猿の腰掛け類きのこ図鑑」、「きのこ狩りを楽しむ本」などがある。秦野市在住。



イワシャジン

1905年、武田久吉先生が丹沢で採集され、牧野富太郎先生が研究し、発表された。丹沢の植物研究の歴史的な第一歩となった植物である。*



サガミジョウロウホトギス

丹沢だけに特産する貴重植物。1957年に発見された。*

丹沢の花

コースタイム

小田急線新松田駅(またはJR御殿場線磯谷駅)〜富士急行バス1時間10分(40分)〜西丹沢自然教室バス停(25分)〜用木沢出合(1時間15分)〜大越路(2時間30分)〜檜洞丸(2時間40分)〜蛭ヶ岳(1時間10分)〜丹沢山(50分)〜塔ノ岳(10分)〜金冷やし(25分)〜小丸分岐(1時間10分)〜二俣ノ西山林道(1時間20分)〜大倉バス停(1時間15分)〜小田急線沢沢駅

鍋割山稜では、白い樹肌のタンナサワフタギ(⑩)に白い花が咲き、秋にはナナカマドの紅葉と赤い実を楽しむことができます。■一泊プランで紹介しましたが、このコースは行程も長く、険しいところもあるので、余裕を持って二泊三日にするとうよいでしょう。檜洞丸、蛭ヶ岳、丹沢山、塔ノ岳の各山頂に小屋があります。

上/色とりどりの雑貨があふれる店内。中上/みなどみらいの地図をモチーフにした紙袋。中下右/アイデアと意欲にあふれる小林さん。中下左/イギリステイストでまとめられた店の外観。下/視察で、いちばん印象に残ったというイギリスの街並み。右から2番目は、ロンドン、ビッグ・ベンの前で。他は、カムデン・ロック。



海外派遣団員が語る⑬
ヨーロッパに学ぶおしゃれな色使い
横浜市中区 SCOTTS(ファッション雑貨) 小林直樹さん



個性が際立つ配色テクニク

平成四年に、(財)はまぎん産業文化振興財団主催の第四回商業従業者海外派遣団に参加し、ドイツ、スイス、イタリア、イギリスを視察してきました。

私は、SCOTTS(スコッツ)の本社である小林紙工株式会社に働いています。小林紙工株式会社は、小売店の包装用紙やネーム入りの紙袋など、包装用品を扱う会社です。

包装用品は、ただ包むだけではなく、店をイメージづけるものでもあると思うのです。バーバリーのタータンチェ

ックのようにシンボライズされた色や柄の果たす役割は大きいと感じていました。ですから、歴史があり、流行の発信地でもあるヨーロッパで、その色使いについて勉強したいと思い応募したのです。

ヨーロッパの色の調和が取れた美しい街並みや、道行く人のファッションセンスのよさは、さすがでした。ジーンズにセーターというカジュアルな姿でも、すごくカッコイイのです。色の使い方がうまいんですね。基本的には同系色でまとめ、帽子やスカーフなど小物で、色をワンポイントきかし、自

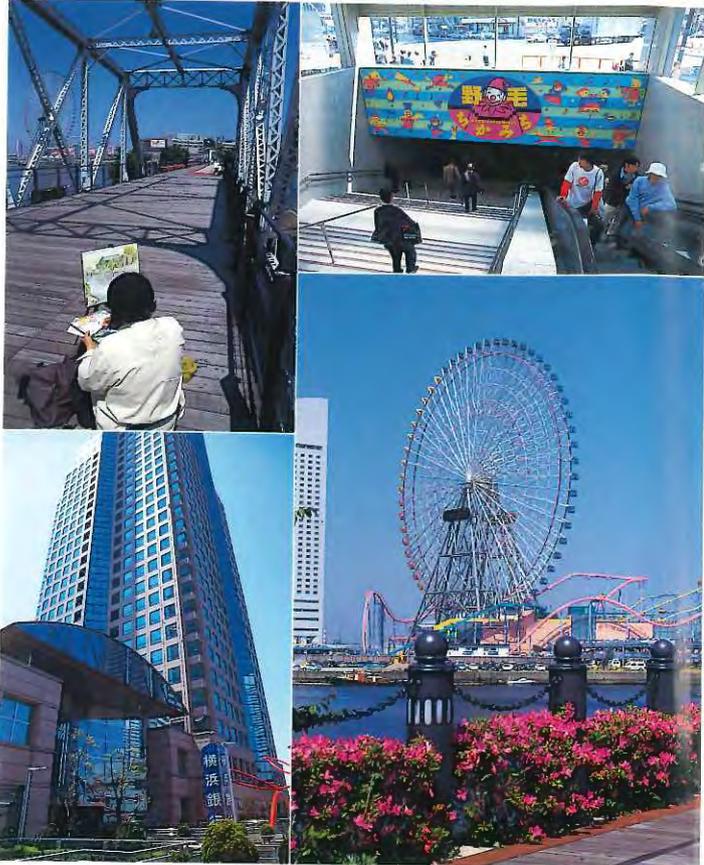
分を個性づけているんです。

国ではイギリスが印象的でした。帰国してから、お客さまの立場に立ち、包装用品の使い勝手を考えるため、桜木町に雑貨店を出すことになったときも、迷わずスコッツと名付けたほどです。

視察以来、個性の表現方法として、色使いの重要性を強く感じていましたので、店舗はイギリスとみなどみらいをイメージする色として、ネービーブルー(濃紺色)と赤を選びました。

イギリスからの輸入品を中心に、化粧小物やバッグ、菓子などを扱っています。デイスプレーはミラノのブルー

上右/桜木町駅と野毛地区をつなぐ「のげちかみち」。上左/日本丸横から新港地区への遊歩道、自動車道。みなとみらいのビル群を眺める絶好のスポットです。下右/この春から、新港地区で再始動を始めた大観覧車、コスモクロック21。下左/横浜銀行本店。1階には、「はまぎんホールヴィアマール」があります。



新旧が融合する魅力的な街に

ノ・マリ（皮革製品の老舗）でのレクチャーを参考に、店内でいちばん目につく場所は十日に一度は模様替えをし、商品が新鮮に映るようにしています。

また、海外旅行の際、地図が記念になることにヒントを得て、みなとみらい地区の地図をモチーフにした紙袋をつくり使用しています。ギフト用の箱もモスグリーンでフルーツなどをあしらったものを用意しましたが、どちらも評判は上々で、うれしい限りです。

小林紙工株式会社は、祖父が野毛に創業したことに始まります。そんな縁

もあり、子供のころから、桜木町駅付近はなじみ深いところでした。

今、桜木町駅付近は大きく変わりつつあります。そういう意味で面白いのが、この四月に開通した「野毛ちかみち」です。桜木町駅と野毛方面をつなぐ地下道なのですが、タイムトンネルのような気がしてならないのです。

野毛地区は、しゃれた洋食屋や雰囲気のあるバーがあったりと、古くからの横浜の様子を色濃く伝えていきます。

一方のみなとみらいは、近未来的な街になりつつあります。同じ車で、右へ歩くか、左へ歩くかで街の様子がこんなに違うなんて面白いと思いませんか。ロンドンに行ったとき、横浜と似て

いると感じたのは、古いものを大切にしながら、新しいものを生んでいく点です。

視察の自由時間にロンドン郊外のカムデン・ロックという、古いレンガ造りの建物が残る、横浜によく似た雰囲気の街に足を延ばしました。古い建物をそのまま利用し、アンティークショップのすぐ隣に、流行を生み出しそうな品をそろえた店が違和感なく並び、よい雰囲気を醸し出していました。

横浜にも古い建物がたくさん残っています。それらの建物を活用し、古いものと新しいものが融合して、他の都市には真似できない、ますます魅力的な街になるとうれいすね。(談)



小林直樹 ● 昭和四十年横浜市生まれ。商品アドバイザーや新商品の開発も含めての営業活動を行う一方、スコッツの担当として、若い感性を生かし、店舗の企画・運営にあたる。

※勲はまぎん産業文化振興財団では、事業の一つの柱として平成元年より神奈川県内の商業従業者の方を対象に「神奈川県商業従業者海外派遣事業」を主催。海外の商業文化を視察する機会を提供しております。

マイウェイプラザ

「ヴィアマール・サマーポップコンサート」のご案内

「ジャズ・ピチカート」や「パリの空の下」など、アメリカンポップスとフランス音楽の名曲をたっぷりとお楽しみください。

日時 ● 7月17日 午後6時30分開演

会場 ● はまぎんホール ヴィアマール

出演 ● 指揮／外山和彦

アコーディオン／パトリック・スジエ

管弦楽／神奈川フィルハーモニー管弦楽団

入場料 ● 2000円

問い合わせ ● ヴィアマールホール事務局

☎045(225)2173



ホール全景。舞台形式から平土間形式まで、多様な設定が可能です。

施設概要

はまぎんホールヴィアマールは、コンサート、講演会など、ジャンルを問わず、ご利用いただけます。あなたのステージとしてどうぞご利用ください。

- ホール 客席数517席(前舞台使用時490席)
- 使用時間 9時～22時まで
- 使用料金 基本料金、技術者料金、付帯設備使用料の合計。基本料金は、1日を3区分に設定、6万25万円。技術者料金は、1名3万8千円。
- 有料催事は別途割増料金を申し受けます。
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、5月3～5日
- お問い合わせ・お申し込み先 ヴィアマールホール事務局(銀行営業日の10時～16時) ☎045(225)2173

横浜市西区みなとみらい3-1-1 横浜銀行本店1階

編集後記

山歩きは、日ごろから体調に気を配る習慣が身につく、健康維持に効果のあることが、昨今の登山ブームの背景にあるようです。しかし「もう少し自然や樹木の知識があれば、もっと楽しく、充実した山歩きができたのに……」と心残りに思うことはないでしょうか。

この小冊子を携え、神奈川に残された豊かで貴重な自然を、心ゆくまで楽しんでいただければと願っております。丹沢の森と自然は、私たちに様々なことを語りかけてくれることでしょう。

残念なことですが、丹沢の自然にも大気汚染の影響が生じています。科学と物質文明のただなかに暮らす私たちは、知らず識らずのうちに自然のバランスを壊しているようです。一人ひとりが十分な準備とともに自然を守る大切さを心に留めて、丹沢の森の恵みを心から感じて存分に享受したいものです。自然との調和の中で心豊かに日々を送ることは、私たち日本人が古来より育んできた自然観であり、人生観ではないでしょうか。

財団法人はまぎん産業文化振興財団

事務局長 高橋紀雄

お知らせコーナー

フリーダイヤルで気軽に「年金なんでも相談」
〈はまぎん〉年金デスク

土・日曜日のご相談も受付中

フリーダイヤル

ミミヨリバンク

☎0120-334-089

●相談受付日

祝日、12月31日を除く毎日(ただし、1月1日～3日、5月3日～5日は休業させていただきます。)

●相談受付時間・9:00～17:00

●相談内容

- ★「年金の請求はどのようにするのか」
- ★「年金は何年加入すれば受給できるのか」
- ★「年金はいくら受給できるのか」
- ★「働きながら年金を受給(在職老齢厚生年金)するにはどうすればよいのか」
- ★「年金と雇用保険(失業給付)との併給調整は」
- ★「退職後の健康保険はどうなるのか」

など、お気軽にお問い合わせください。

※毎週3回実施している「年金教室」の受付もできます。

※年金に関連した雇用保険制度、健康保険制度等についてもご相談できます。